



社会福祉子ども学科
相川 章子 教授

【研究分野】 精神保健福祉 ソーシャルワーク 当事者学
【キーワード】 ピアスタッフ/ピアサポーター 共同創造 インクルージョン
【U R L】 教員紹介詳細 | 埼玉県立大学



研究概要

長らくソーシャルワーカーとしてさまざまな当事者とかかわり、実践するなかで「**支援する一される**」関係が固定化されていくなかでの限界と同時に、同様の経験・立場のある者同士の**ピアサポートの力**を実感し研究をすすめています。

これまで主に精神障害・発達障害など精神保健福祉領域をフィールドとしていましたが、近年は不登校やひきこもりなど、社会の中で生きづらさを感じている若者たちのピアサポートへと広がっています。そして、すべての人に、すべてのコミュニティにピアサポートが届くように活動しています。

研究紹介

1. ピアスタッフ/ピアサポーターの価値および倫理に関する研究

ピアサポートを実践し促進する担い手であるピアスタッフ/ピアサポーターの価値・倫理をピアスタッフ等との共同研究によりアクションリサーチを行い、「ピアスタッフが大切にしたいこと」12項目にまとめました。

(詳細は<https://sites.google.com/view/peer-values-roles>)

2. 当事者との共同創造とコミュニティ・インクルージョン

2010年より当事者、家族、行政、関係者と企画から作り上げるピアサポート講座を通じて、共生する地域づくり、当事者・家族のリカバリー、支援者の変化について研究を重ねています。



講座テーマ紹介

- ・地域の中で共に作り上げる講座等への参画（当事者と共に一緒に作り上げていく過程を歩む）
- ・ピアサポート講座（当事者・家族・支援者共に学ぶ場、基本は三日間だが、半日・1日などのキックオフ的な講座も可。リカバリーストーリーを基底として紡がれるピアサポートを体感）
- ・ピアサポートファシリテーター育成講座（ピアサポート講座をファシリテートする人材育成）
- ・ピアスタッフ/ピアサポーター養成・育成講座
- ・ひきこもり・不登校・精神障害・発達障害等当事者体験発表の場づくり等

アピールポイントなど

- ・2010年より各地域で当事者と支援者が協働する機会をピアサポート講座を通じて実践し、全国で毎年10ヶ所ほどでピアサポート講座が開催しています。
- ・各自治体障害福祉計画策定委員長、総合支援協議会会長等担当
- ・日本社会福祉学会代議員、日本デイ・ケア学会評議員、日本ピアスタッフ協会顧問